

【滝川地区大会奨励賞】受賞

『いじめをなくすには』

赤平中学校3年 松田 なつみさん



今、「いじめ」が大変問題になっていきます。

いじめが苦で自殺をするというニュースも何度も聞いています。その他にも、不登校、犯罪、援助交際など、現代の中高生の間では様々な問題が起きていますね。どれもただ暮らして豊かになっただとしても、決して良い世の中ではないと思います。いつからこの世にこんな問題が出てきたのでしょうか。

私はいじめが嫌いです。いじめめるのもいじめられるのも、嫌です。人をいじめても何も得るものは無いし、もちろんいじめられている人はただただ辛いだけ。やっぱりいじめはいいものではありません。

中にはいじめをなくそうと活動している人もいます。でも、いじめている人には分かりません。まず、いじめているという「自覚」すらないのであれば、そもそもそんな中で活動してあまり効果はみられないかもしれません。それでいじめをやめた人もいるはずなので、全く効果がないという訳でもなさそうです。

学校に、カウンセラーやいじめ相談所などを今よりも増やすというのはいじめをなくす方法の一つではないかと私は考えています。いじめたり、いじめられた原因、そしてその時の気持ち、その人が今まで周りに言えなかったことを吐き出せるような環境も大切だと思います。

では一体どこからがいじめなのでしょう。悪ふざけやちょっとした喧嘩はいじめのうちに入らない、相手を傷つけたらいじめだと私は思っています。普通に通ってこれれば、いじめは大きくなると分かります。その分、それこそ自殺をします。生憎時間は戻すことはできません。生憎時間は戻すことはできません。その前にちょっとした出来事でも止めてあげられる人や信頼できる人を見つかる

というのが大切なことだと思います。これがきつと二つ目の方法だと思えます。一人で抱え込むよりも、誰かに頼り、自分以外の考えを聞いたり、助けてもらったりすることで事が解決することもあるかもしないからです。

三つ目は、「自分」というものをしっかりと持つこと。いつでも自分の考えがなければ、周りの人がどれだけ手を貸したり支えてあげたりしても意味がありません。そして楽ばかりを選んで生きようとしたくない。確かに今は自由な世の中にはなっています。でも自由というものは決して、楽なこと、好きなことばかりやるということではありません。面白くないことも、苦しいことも、自由に生きていくには必要なことだと思います。

もちろん、助けてもらってばかりではダメだと思えます。自分は大丈夫の人に助けてもらっているのに、周りのことは知らん顔。そんなことをしていたら、いつか助けてもらえなくなります。自分をどれだけ優先したとしても、周りに手を貸さないのはダメです。もしかししたら、自分よりも辛い思いをしている人がいるかもしれません。そんなときは自分

が助けてもらったように、その人に手を貸してあげればよいと思えます。自分に余裕があるときはそうやって、周りに気を使ってみるのもよいかもしれません。

これらのことを頭に入れておけば、いじめはもちろん他の問題も少しは良くなったりするのではないでしょうか。良くしようと考えたり努力すること、それが「いじめ」をなくす第一歩だと私は思います。

【滝川地区大会奨励賞】受賞

『いじめ』

赤平中央中学校3年

大須田 理乃さん



私は最近のニュースを見ていじめによる自殺が多いと感じました。どこからどこまでがいじめなんだろう。いじめに年齢制限はあるのだろうか。

私は実際にいじめを受けたことも見たことはありません。し

かし現在日本ではたくさんいじめがたたくさんのところで行われています。誰にも相談できずにいっぱいいっぱいになり自殺する人もいます。そんなニュースが毎日のように放送される中、いじめは一向に減りません。なぜでしょう。それはいじめている側が自分のやっていることが相手を傷つけているということに気づいていないからだだと思います。軽く言った一言で相手が死にたくなる程、傷ついているかもしれない。常にこういう風に言ったら相手はどう思うのかを気をつけてみたら少しは変わるのではないかと思います。どこからどこまでがいじめなのか。それは相手次第です。相手がいじめだと思った時点でそれはいじめになるのです。

そこでいじめられている側がいじめだと思った時にどうすれば良いのか。自分だけの解決が無理なら誰かに助けを求めたいの。と聞いたり見ている側は思つかもしないけどいじめられている側は誰かに言えればまたやられると思って言えないと考えているのではないのでしょうか。だから言えなくて一人で抱え込んで最終的に「自殺」というような悲しい選択になって

しまうのではないかと私は考えています。

またこれが大人の場合になるとどうなるのでしょうか。子どもよりたくさん知識をもち頭を使える大人のいじめはどんなものなのでしょう。

私はテレビや本で見たことがあります。それは直接的にやるものではなく、間接的に外堀から埋めるというような感じのものでした。仕事場でターゲットを見つけてその人の悪口をうわさにして仕事場にいづらへしたりするいじめです。大人は子どもと違って単純じゃないので子どものいじめより複雑です。大人にも気が弱く何も言えない人もいます。だからいじめに男女、大人、子どもは関係がないと思います。

いじめられるきつかけとは何でしょうか。調べてみると、きっかけは容姿、性格、家庭環境などいろいろありました。

容姿では、太っていたりすること、性格のことでは、気が弱かったりすること、家庭環境では、貧乏だったり、そんな理由でからかわれ、エスカレートしていじめに変わっていきます。

最近のSNSでのいじめも増えています。SNSは気軽にメッセージを交換でき、すぐ便利ですが、また、タイムラインやTwitterといったもので友だちの今日の出来事やささいな気持ちなどをすることもできます。その便利なSNSでいじめが行われていることがあります。みんなが見れるところに特定の人の悪口を書いたり、みんなが見てわかりやすくその人についての秘密をばらしたり、そんなことが行われています。すぐ便利で良いものなのにそういうことに使われると良くないものかと思えます。実際に、私の親もTwitterはいじめがあったりするからダメとやらせてくれなかったりします。便利で使いやすいSNSでそんなことがおこるのはすく嫌です。

ページを交換でき、すぐ便利ですが、

また、タイムラインやTwitterといったもので友だちの今日の出来事やささいな気持ちなどをすることもできます。その便利なSNSでいじめが行われていることがあります。みんなが見れるところに特定の人の悪口を書いたり、みんなが見てわかりやすくその人についての秘密をばらしたり、そんなことが行われています。すぐ便利で良いものなのにそういうことに使われると良くないものかと思えます。実際に、私の親もTwitterはいじめがあったりするからダメとやらせてくれなかったりします。便利で使いやすいSNSでそんなことがおこるのはすく嫌です。

このようにいじめをなくするにはどうしたら良いのでしょうか。それは、周りの人が声をかけてあげることです。でも声をかける側も相当勇気がいります。声をかけることによって次は自分がいじめられるかもしれない。そんな風に思っているだけの人でも少なくはないと思います。でも一人言うのが怖ければ、多人数でいけばいいのです。そんな解決法でいじめが減っていくといいなと思います。

## 第65回社会を明るくする運動作文コンテスト

札幌地方推進委員会

1,205作品の中から見事  
優秀賞に輝きました。

### 「社会を明るくする運動」

ぼくは、社会を明るくするためには、やはり大人がしっかりしなければいけないと思います。その中でさらにしっかりしなければいけないのは子どもをもつ大人です。犯罪や非行にはしてしまいう子どもに問題があるのはたしかですが、その犯罪や非行にはしてしまいう子どもがすべて悪いとはぼくは思いません。なにかしら、その親にも問題があったと思います。子どもは、自分より上の人をまねて育っていくと思います。さらに自分の一番身近な親を一番まねしやすく、まねしなければならぬ存在です。その親が子供の前でまがった行動をする。それを子どもがまねする。当然だと思えます。学校でもよく言われます。

「下級生の手本にならなさい。」  
上級生と下級生を親と子どもにおきかえただけで小学校からおそわってきたことだと思えます。そういう家庭を築かないのが一番だと思えます。今まで犯罪や非行にはして子ども親について書いてきましたが、やはり、一番大切なのは自分だと思えます。ぼくの今の国語の先生がこんな言葉をおしえてくれました。

「心が変われば、態度が変わる。態度が変われば、行動が変わる。行動が変われば、習慣が変わる。習慣が変われば、人格が変わる。人格が変われば、運命が変わる。運命が変われば、人生が変わる。」  
ぼくの今の国語の先生が考えたわけじゃなく、ど



赤平中学校2年 高橋 諒 希 さん

この高校の先生が考えたと言っていました。ぼくはその通りだと思えます。心を変えるのは自分しだいだと思つし、そこからいろいろ変わっていく。最終的には人生が変わると書いてあり、ぼくはこゝろ悪い言葉あったのか。と思っていました。

もうひとつ自分を変えるには、夢を持てばいいと思えます。ルーキーズというドラマで不良たちの心を変えていく教師が「夢をもて。」と言っていました。夢をもっていたら、その夢を実現するために、勉強したり、練習したりするわけだから、犯罪や非行などをやるひまなどない。ぼくもそう思っています。ぼくも野球を部活でやっていますが、「一試合でも多く勝ちたい」という夢の実現に向けて日々練習をしています。ひまがまったくありません。なので、犯罪や非行にはしてしまいう人には夢をもってもらいたいと思えます。

最近、ニュースで人を殺したというニュースをよく耳にします。ぼくは人を殺す前に話し合いなどしたのかと思えます。そこでどっちが悪いかなど決着がつかない場合は、裁判で決着をつけたいと思えます。そう簡単にはいかないのわ

とにかく、犯罪や非行にはしないようにするために、大人、特に親ががんばり、夢をもつことが大切だと思います。もし、罪をおかしたとしても、人生は長いので何度でもやりなおせると思えます。